

① 開始したきっかけは何か？どんな経緯で始まったか？ ・郷土の文化財を保存・継承・啓蒙するための施設として国庫及び県補助金により資料館を建設	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか？ ・震災で閉館していたため来館者が激減した。 ・小学校授業一環での利用が少なくなった。	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ ・資料館が廃止されると、飯岡(を代表するもの)がなくなってしまう。 ・文化財審議会にて小中学校の利用促進を図るよう意見が出された。
--	---	---

事務事業名	飯岡歴史民俗資料館活動費	課名	生涯学習課	班名	社会教育施設班(ユートピアセンター)
-------	--------------	----	-------	----	--------------------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 旭市の文化財等を保存・展示することで、市民の地域への愛着を深め、旭市の歴史・伝統文化を次世代に継承していくことにつながる。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 旭の文化財に関心のある人は誰でも利用できるため、対象・意図ともに適切である。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 地域の歴史・文化財は、行政が責任を持って将来、未来に引き継ぐべきものであるため、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 妥当である ⇒【理由】 来館者が少ない。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？成果の向上余地はどの程度あるか？	☐ 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 ☒ 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 施設が老朽化し、統廃合の課題が挙げられているが、小中学校への利用を促し、文化財そして来館への周知を図る。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある (1) 事務事業名：(大原幽学記念館管理費、他の文化財収蔵施設) (2) ☒ 統廃合ができる ⇒【理由】 ☒ 連携ができる ⇒【理由】 ☐ 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 複数施設で収蔵している文化財の一括管理について、全庁的な施設のあり方を踏まえて検討する。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 保存環境を保つための必要最小限の予算であり、これ以上の予算削減は難しい。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ユートピアセンターに勤務している職員が兼務しているため、削減余地がない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 入館無料で誰にでも広く開放しているため、公平・公正である。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性	☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	・大原幽学記念館との差別化が図られていない。 ・人が常駐していないこと、周知活動を行っていないことから、来館者が少ない。 ・建物は老朽化しており、随時修繕の必要性が生じるが、新しい収蔵庫が設置されるまではこのスタイルで維持するべきと思われる。
② 有効性	☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	
③ 効率性	☒ 適切 ☒ 見直し余地あり	
④ 公平性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2～3年後を目処にした方向性			(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																								
☐ 目的再設定 ☐ 事業のやり方改善による成果向上 ☐ 事業のやり方改善による事業費削減 ☐ 受益機会の適正化 ☒ 廃止・休止 ☐ 行政関与の見直し ☐ 事業統廃合・連携(関連事業:) ☐ 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 ☐ 費用負担の適正化			<table><tr><td rowspan="4"> 成果 </td><td></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td></td><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			成果		コスト				削減	維持	増加	向上				維持					低下			
成果			コスト																								
			削減	維持	増加																						
	向上																										
	維持																										
	低下																										
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？																											
いつまでに	なにを、どうするのか？																										
新庁舎建設(既存施設の再編成)後	①分散している文化財を集約できる施設を検討する。 ②文化財への関心を高めるための小中学校向けに周知を行なう。																										
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																											
①施設候補地・予算の検討 ②文化財周知のためのパンフレット等の検討																											